

2022年度 第18回 全道シニア8人制サッカーオープン大会 【 開催要項 】

- | | | |
|----|---------|---|
| 1 | 主 旨 | 北海道シニア年代の普及策の一環として、そしてシーズン初めの足慣らしとして8人制サッカーを行い、既存のチームはもちろんのこと、フットサルのように気軽に参加できる8人制を通して、シニア世代を発掘することを目的とする。 |
| 2 | 名 称 | 2022年度 第18回 全道シニア8人制サッカーオープン大会 |
| 3 | 主 催 | 公益財団法人北海道サッカー協会 |
| 4 | 主 管 | 北海道シニアサッカー連盟 |
| 5 | 協 力 | 公益財団法人北海道サッカー協会 女子委員会 |
| 6 | 期 日 | 2022年5月3日(火祝)・4日(水祝) |
| 7 | 会 場 | 札幌市東雁来公園サッカー場(東・西) |
| 8 | 参 加 資 格 | (1) 本年度(公財)日本サッカー協会登録選手によって構成されたシニア種登録チーム。女子は種別に登録しているチーム。また、シニアの大会を体験したい人のために1種登録の参加を認める。シニア種との混合も可。但し、チーム名は主たる選手の(公財)日本サッカー協会登録名とする。1種だけの参加も認める。
(2) 本年度、北海道シニアサッカー連盟に加盟しているチーム。ただし、女子部門及び1種は除く。
(3) 40部門については、1983年(昭和58年4月1日)までに生まれた選手によって構成されたチーム。
(4) 50部門については、1973年(昭和48年4月1日)までに生まれた選手によって構成されたチーム。
(5) 60部門については、1963年(昭和38年4月1日)までに生まれた選手によって構成されたチーム。
(6) 70部門については、1953年(昭和28年4月1日)までに生まれた選手によって構成されたチーム。
(7) 女子部門については、1988年(昭和63年4月1日)までに生まれた選手によって構成されたチーム。
(8) 各部門とも混成によるチーム参加を認める。チーム名については略称名を認めるが、申込書には協会登録及び連盟登録チーム名を記載すること。
(9) 全ての部門及び部門間の重複登録を認めない。
ただし、70部門のJFA登録に関する緩和策として、70部門と60部門に限り、同部門間の重複登録は認める。 |
| 9 | 参加チーム数 | 会場数に限りがあることから、予定数を超えた場合はシニア登録チームを優先とし抽選とする。 |
| 10 | 競 技 規 則 | (1) 「8人制サッカー競技規則」に準じて、「シニア種8人制サッカー競技規則」で実施する。
(2) 競技フィールド(グラウンド状況により、変更する場合がある) <ul style="list-style-type: none">・ ピッチの大きさ:縦60~70m×横40~50m(68m×50mを基準)・ ペナルティーエリアの縦:12m・ ペナルティーマーク:8m(但し、正規のゴールの場合は11mとする)・ ペナルティーアークの半径:7m・ センターサークルの半径:7m・ コーナーアークの半径:1m・ ゴールの大きさ:少年用ゴール。但し、会場により正規ゴールを使用する場合がある。・ 交代ゾーンはハーフラインより左右3mずつの6mとする。 |

- (3) ボールは 40 部門普通 5 号球。60・女子部門・50 部門は軽量 5 号球(400g) 70 部門は軽量 5 号球(380g)を使用する。
- (4) 競技者の数
- ・8人(うち1名をゴールキーパー)とし、6人未満となった場合は試合を不成立とする。
 - ・交代要員の数:17名以内
 - ・交代を行うことができる数:再交代を適用する。
(一度退いた競技者も再び出場でき、何回でも交代可能とする)
 - ・役員の数:5名以内
- (5) 審判員は1人制とするが、第4審判員及び補助審判員を各1名置くこととする。
- (6) その他は、本年度(公財)日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。
- 11 競技方法
- (1) 基本的には各部門ともリーグ戦方式とし、ブロック毎の順位決定戦とするが、参加状況に応じて変則リーグ戦またはトーナメント戦とする場合がある。
- (2) リーグ戦は、勝ち3点、引分け1点、負け0点により、勝ち点の多い順に順位を決定する。なお、勝ち点が同一の場合は以下の項目に従い順位を決定する。
- I 全試合の得失点差(総得点－総失点)
 - II 全試合の総得点
 - III 当該チーム同士の対戦成績(勝敗)
 - IV コイントス
- (3) ノックアウト方式により同点となった場合には、3名によるPK戦により決定する。3名で決着しない場合は、少ない人数のチームに合わせた上、サドンデス方式とする。
- (4) 試合時間は各部門とも30分(15分ハーフ、休憩は原則として5分間)とする。
- (5) 参加状況によっては、大会方式や試合時間の変更及び部門を統合する場合がある。
- 12 懲 罰
- (1) 本大会は、(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。
- (2) 大会期間中に警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
- (3) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できない。それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。
- (4) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近の公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (5) 棄権試合、不正等が発見・確認された場合は0対3とし、その後の処置については、大会規律委員会で決定する。また、本開催要項に記載事項のない懲罰に関する事項も、大会規律委員会で決定する。
- 13 参加申込
- (1) 参加申込書の登録選手数は25名までとする。登録選手以外の出場は認めない。
- (2) 申込締切日 2022年4月15日(金)17時必着
- (3) 大会参加料 22,000円(税込)・・・下記③の指定口座まで納入。
※但し、70部門については、11,000円(税込)とする。
- (4) 審判不帯同料 16,500円(税込)・・・下記③の指定口座まで納入する。ただし、この大会はシニア連盟主催の自主運営のため、出来る限り審判員を帯同させること。
- (5) 参加するチームは所定の申込用紙により、必ず所属する地区サッカー協会へ、Eメールにて送付すること。
- (6) 申込を受けた地区サッカー協会は期日までに①②まで申込手続きを行うこと。
- ①(公財)北海道サッカー協会

〒062-0912 札幌市豊平区水車町 5 丁目 5-41
北海道フットボールセンター
TEL: 011-825-1100 FAX: 011-825-1101

●参加申込書

●プライバシーポリシー同意書

②北海道シニアサッカー連盟 事務局長 伊東美智子

Eメール: smrs-ito@taupe.plala.or.jp

TEL: 090-3778-4706 FAX: 011-778-9761

●参加申込書

③大会参加料・審判不帯同料振込先

北洋銀行 本店営業部 (普)5278500

口座名 北海道シニアサッカー連盟 大会申込口

- 14 組合せ (1) (公財)北海道サッカー協会において厳正なる抽選を行う。
(2) 組合せ結果は(公財)北海道サッカー協会 HP「大会情報→シニア」で確認すること。<https://www.hfa-dream.or.jp/>
- 15 帯同審判員 (3) 同じ地区より2チーム以上出場しているチームはブロック分けとする。
(1) 参加チームはJFAサッカー公認審判員(4級以上)3名以上を帯同させること。審判員の氏名、資格、連絡先等を参加申込書に記入すること。大会当日は審判証を提示すること。但し70チームは除く。
(2) 選手・役員が審判員を兼務する場合は、審判業務を最優先とすること。
(3) 帯同できない場合は、不帯同料16,500円を13(6)③に納入すること。
- 16 選手登録変更 (1) 選手の登録変更は2022年4月22日(金)17時まで、所定の変更届により、地区協会を通してEメールにて13①②に届け出ること。
(2) (公財)北海道サッカー協会への追加登録は、2022年4月22日(金)17時までに当協会に登録を完了した選手とする。
- 17 ユニフォーム及び選手の用具 (1) (公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規程」を遵守し(「ユニフォーム規程の運用緩和」を適用)、所属地区サッカー協会を通じて、(公財)日本サッカー協会の承認を得たものに限る。
(2) フィールドプレーヤー及びゴールキーパーは、本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用することを原則とする。ただし、本競技会主催者が認める場合はこの限りではない。
(3) ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる(ビブス等も可)。
(4) ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。
(5) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用する判別しやすい組み合わせのユニフォームをビブス等も含めて決定する。
(6) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
(7) アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
(8) アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- 18 監督会議 (1) 当日、監督が欠席の場合には、必ず代理をたてなければならない。
(2) 期日: 2022年5月3日(火祝)午前8時30分
(3) 会場: 札幌市東雁来公園サッカー場 大会本部テント前
- 19 開会式 監督会議の終了後に行う。
- 20 閉会式 期日: 2022年5月4日(水祝)各部門終了後に各会場で行う。

21 負傷及び
事故の責任
22 その他

大会期間中の負傷及び事故の責任は当該チームが負うものとする。また、医師及び救急用品の準備は各チームの責任において行うこと。

- (1) 本競技会は大会期間を通じて感染対策担当者を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に、各チームの感染対策担当者とのミーティングを実施する。
- (2) 登録選手は(公財)日本サッカー協会発行の選手証を監督会議に持参すること。但し、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。
※選手証とは WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはパソコンやスマートフォンの画面に表示したものを示す。選手証が確認できない場合は試合に出場できない。
- (3) 本大会要項に規定されていない事項が発生した場合には、北海道シニアサッカー連盟において協議の上決定する。
- (4) 参加選手は自己責任のもと健康状態には特に注意し、事前に医師の診断を受け、試合出場に支障のないことを確認のうえ出場すること。
- (5) 大会参加にあたって、各チームはスポーツ傷害保険等の加入手続きを済ませること。
- (6) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は、当運営委員会において協議のうえ、対処する。中断・中止・延期することがある。
- (7) 眼鏡:プラスチックまたは、類似の素材でできた最近のスポーツメガネ以外は認めない。さらにフレームレス及び脱落する可能性があると言判断した眼鏡は認めない。

以上